

第6節 地球温暖化の防止

人口や世帯数の増加や近年のライフスタイルの影響に伴い、電気やガスの使用量が増加していることなどから、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量も増加しています。

節電やエネルギーの有効利用や環境にやさしいライフスタイルへの転換を図るなど、地球温暖化を防止するため、次の取組みを進めます。

- 6 - 1 二酸化炭素の排出抑制の推進
- 6 - 2 地球温暖化対策に効果的な補助事業の実施
- 6 - 3 地球温暖化防止に関する市民意識の高揚
- 6 - 4 市役所における地球温暖化対策実行計画の推進

6 - 1 二酸化炭素の排出抑制の推進

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出については、市民、事業者、市がそれぞれの役割に応じて排出抑制や排出削減に向け取り組んでいく必要があります。

市では、家庭において二酸化炭素の排出を削減する取り組みを行っている家族をエコチーム・かすがいに認定し、その取り組み内容を広報や市ホームページで啓発しました。

また、家庭での電気使用量などから二酸化炭素排出量を計算することができる環境家計簿を作成し、配付を行いました。



写真：環境家計簿 表紙

6 - 2 地球温暖化対策に効果的な補助事業の実施

家庭において、エネルギーの有効利用や二酸化炭素の排出を抑制するため、住宅用地球温暖化対策機器設置費補助事業として、平成 18 年度は住宅用太陽光発電利用システム(69件)、住宅用太陽熱高度利用システム(1件)、住宅用高効率エネルギーシステム(180件)の設置に対して補助を実施しました。

平成 10 年度からの累計で、住宅用地球温暖化対策機器に対し、約 1,621tの二酸化炭素排出削減に相応する助成を実施しました。

6 - 3 地球温暖化防止に関する市民意識の高揚

地球環境を守るには、日常生活の小さな行動の積み重ねが大切であることを学ぶことを目的に、「夏休み子どもエコセミナー 『地球環境を守るために』～私たちにできることって何?」を実施しました。

親子で、傘の布を使ったマイバックに絵付けをし、オリジナルマイバックを作るとともに、バックを利用することにより、できるレジ袋の削減から地球温暖化の防止について、考えました。

また、一般向けのエコセミナーとして「LOHAS(ロハス)な生活～フードマイレージから考えよう～」を実施し、フードマイレージ(輸入農作物が環境に与えている負荷を数値化したもの)から環境に意識の高い生活スタイルを学び、家庭内でできる地球温暖化対策を学びました。



写真:夏休み子どもエコセミナー
「オリジナルマイバックづくり」



写真:エコセミナー
「LOHASな生活」

6 - 4 市役所における地球温暖化対策実行計画の推進

市では、平成 13 年に事務・事業に関して、温室効果ガスの排出の抑制・削減を図るため、「市役所地球温暖化対策実行計画」を策定し、平成 17 年には「第 2 次市役所地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

この計画に基づき、グリーン調達や公用車への低公害車の導入などを実施しています。

また、平成 18 年度には、(財)省エネルギーセンターによる省エネ診断を 1 施設において実施するとともに、平成 19 年度についても 10 施設での実施を予定しています。